

第29回やまぐち建築セミナー【報告】

青年部副部長 中山 怜

こんにちは。青年部副部長の中山です。

2026年2月28日（土）に開催された『第29回やまぐち建築セミナー』の報告をします。今年度のセミナーでは、建築家の永山祐子先生を山口市のKDDI維新ホールにお招きし、『建築というきっかけ』という演題でご講演頂きました。

永山先生は、山口県内にご親族がいらっしゃるということで山口県とはご縁があるらしく、それもあって今回の講演も快諾頂けたようです。

講演の内容は、主にドバイ国際博覧会と日本国際博覧会（大阪・関西万博）で担当された各パビリオン設計についてお話し頂きました。万博パビリオンの設計は、テーマや展示物が決まっていない時期から建築計画に着手しないといけないという大変困難な条件だったそうです。ドバイ国際博覧会日本館は、日本の伝統技術『組子』から着想した幾何学ファサード、折り紙をモチーフにした遮光の為に外装膜、周辺の気候をリサーチし自然の風を取り込むなど環境に配慮したサスティナブル建築だったそうです。また、日本国際博覧会（大阪・関西万博）のウーマンズパビリオンは、ドバイ万博の構造を再利用する万博建築としては新しい試みの循環型建築に取り組みされたお話を聞かせて頂きました。話の中で記憶に残っていることが『ファサード構造の再利用において新しい部材を増やさない』というルールのもと設計されたということです。細長い敷地にドバイ万博で制作された構造材をリユースするかなり難易度の高いプロジェクト。幾重にも立ちはだかる難問はあったかとも思いますが、永山先生はリユース建築の実現に執念と努力で乗り越えられたのだと感じ取れました。

次期は、2027年国際園芸博覧会 GREEN × EXPO2027の屋内出店施設に再利用される予定だそうで、今度はどんな作品を発表してくれるのか楽しみです。

またセミナー後には、永山先生に残って頂き建築を学ぶ学生との座談会を開催しました。4年前から建築家の先生方のご厚意で開催させて頂いています。建築家の先生へ質問ができる貴重な場ということで大変好評な企画で、今年も山口大学工学部と徳山工業高等専門学校に学生に参加して頂きました。普段お話しすることのない建築家の先生を相手に学生達は少し緊張気味でしたが、徐々に発言の量も増えて、永山先生も学生との対話を楽しんでいた様子でした。後日、永山先生から『建築学生から良い刺激を頂きました』とお礼のメッセージを頂きそれぞれが良い経験になったのではないかと思います。セミナーや座談会で参加者から数多くの質問を頂きました。それに対して永山先生は真摯に受け答えをして頂き先生の人柄や魅力を再認識させて頂きました。

この度のセミナーでは、開始前にちょっとしたアクシデントで講演開始時間がズレ込み、バタバタとした出足で参加者様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、セミナー終了後のアンケートには『話の内容が勉強になった』や『貴重な話を聞いてよかった』などの高評価を頂きました。今年のセミナーも盛会に開催することができたので青年部一同大変感謝と満足でいっぱいです。

次年度における『やまぐち建築セミナー』も参加者のご意見を参考にして、数多くの方により一層の建築へ関心を深めて頂き満足してもらえる充実したセミナーを開催できるように青年部内で企画運営していきたいと思っております。

2027年のやまぐち建築セミナーをお楽しみに!!

